

町議会からの提案に対する対応（平成 22 年 9 月定例会）

番号	質問項目	答弁要旨	対応方針・状況	担当課
1	職員の処分について 身内だけでなく外部から意見を聞くべきと考える。	検討してみたい。	現在の「北栄町職員の処分等に係る審査委員会」の委員 3 名に加え、外部委員として 2 名（弁護士と労務管理者）を委員として委嘱する方向で協議中です。	総務課
2	庁舎玄関で途切れている点字ブロックを庁舎内まで設置すべきと考える。	検討します。	視覚障害をお持ちの方が用事を少しでも可能となるよう庁舎玄関から窓口（北条庁舎を含む）にご案内する点字ブロックを設置するよう補正予算計上したいと考えています。	総務課
3	お台場公園やオートキャンプ場、両道の駅の「AED」は外に設置し、何時でも誰でも使用できるようにすべきではないか。	盗難の心配があり、屋外設置していない。検討してみたい。	「AED」は高価なもので、破損、盗難等の管理面からも、屋外設置は困難と考えます。	企画振興課
4	大栄のシルバー人材センターの運営について、特定の人物に仕事を配分していると聞くが、どうか。	そのようなことは聞いていないが、調査する。	<p>（調査結果）</p> <p>シルバー人材センターでは、まず会員に自分のできる仕事に登録していただいており、注文があったときに、全員に平等に仕事が行きわたるように、事務局が出ている回数が少ない人から順に声かけをして、出ています。</p> <p>「草刈・消毒・伐採」「剪定」や「生活支援・食事作り」は注文があるが、「除草・掃除」や「配達・涉外」はほとんど注文がなく、また、丁寧な仕事をする人や腕のいい人には指名もあり、その人には仕事が集中する。また、道の駅（大栄）の清掃は特定の人になっているのが現状である。</p> <p>（町の対応）</p> <p>町ではこの現状を受けシルバー人材センターに今後は会員に出来る限る公平に受注がされるよう申し入れました。</p>	健康福祉課

5	町有トラクターは町の財産であることを認識し、JAと共に管理を適正に行い、利用者の利便性の向上に努めること。	今後、適正な管理の在り方について、JAと協議し、決定したい。	幅広い農業者に廉価でトラクターを使用してもらうことがこの事業の趣旨ですが、一部の使用者のモラル欠如に起因していることから、一律に利用料を上げることや、JAに過度の負担を求めるることは適切ではないと考えております。機械の返却時に清掃を行ったか等チェックしてから鍵を受け取るなど、JAに管理体制の工夫をお願いしているところであります。 JAは、管理体制の充実を図るため、大栄支所から北栄営農センターに機械を移動させることも検討していると聞いています。	産業振興課
6	準要保護児童生徒認定基準の見直しを行い就学援助の拡充を図ってはどうか。	認定基準及び就学援助費目の見直し検討を行う。	認定基準については、現行の認定基準に次の項目を追加します。 学校納付金の納付が困難な者、被服、学用品、通学用品等に不自由している者、生活状態が極めて悪いと認められる者 経済的な理由による欠席日数が多い児童等の保護者 やむをえない理由により所得が著しく減少した者・家族の病気等により支出が著しく増大した者 で教育委員会が援助する必要があると認めた者 就学援助費目については、学級費を含め精査中です。	教育総務課
7	中学校中国・全国大会生徒派遣費補助について、県内大会宿泊費補助を含め、大会に要する実費を補助すべきではないか。	県内外の宿泊費を含め生徒派遣費補助制度の見直し検討を行う。	生徒派遣による宿泊費及び県内大会における宿泊の取り扱いは次のとおりとします。 ・宿泊費：宿泊に要した料金を支給するが、準用する町職員旅費条例に定める県外宿泊費 10,900 円を上限とする。 ・県内大会：大会日程により必要と認められる場合は前泊を認める。	教育総務課
8	郡民体育大会選手報償費の増額について	検討したい。	平成 23 年度予算編成時において、増額を検討します。	生涯学習課